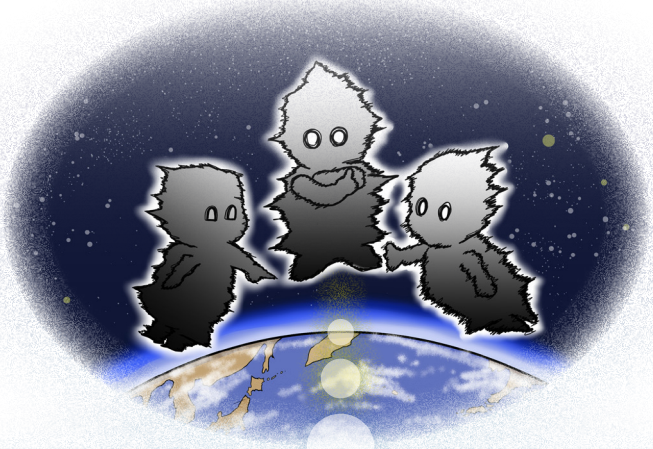
第6話 近代製錬技術の洗練化

近代製錬技術の洗練化



成長している途中のセイレンジャーも活躍し、
やっと多くの人が利用できるほどの銅、亜鉛、鉛を作れるようになってきたな。
製錬する際に問題となるイオウも硫酸として活用できるようになり、
このまま人間と共存できる道が見えてきたぞ……

セイレンジャーがそろい、彼らのパワーとなる
石炭や重油も使用可能になった。我々の仲間が
役に立つフィールドが広がっているな

という錫の言葉に、

カッパー将軍は、

電気が使えるようになり、
その便利さに人間が気づいたのが大きいな

と人間の進歩を語った。

それを聞いていたシルバー王子は、

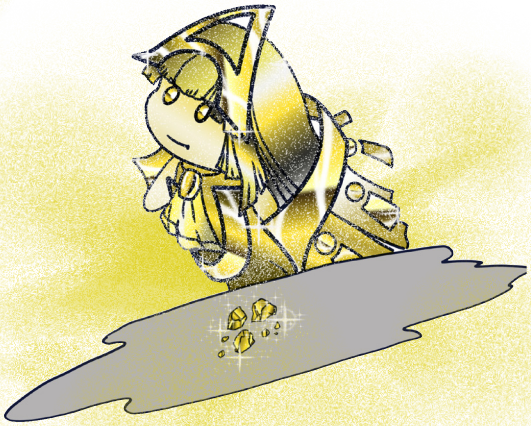
おかげで我々の仲間も増えるだけでなく、
純度も格段に高まっている

と、嬉しそうな表情を浮かべた。

しかし、隣で聞いていた亜鉛は

それでもゴールド女王様だけは
大量に製造できないようだね

と心配顔で言った。



カッパー将軍は、そんな亜鉛に

そりゃそうだよ。なんといってもこの地球上に
ごくわずかしかないのだから。だからこそ、女王様なんだ

と、ゴールド女王の貴重さを語った。

カッパー将軍の元気な話し方を聞いていた水銀は、

それにしても最近のカッパー将軍の勢力の伸び方
はすごいものだな

と言った。

その言葉に、亜鉛や鉛が、

我々もしっかり人間の役に立っているよ

とアピールした。

亜鉛、鉛の重要性

そうだね。亜鉛は、肥料に使われたこともあったし、
今では、鉄王国のために大活躍しているよね

と錫は、亜鉛の活躍ぶりを語った。

そうなんだ、鉄は確かに強くていい素材なんだが、酸素と
結びついて土に返ってしまうからね（1）。鉄の表面を覆っ
て、鉄がぼろぼろにならないように守っているのだよ

と亜鉛は、自分の存在価値をさらにアピールした。

横で聞いていたシルバー王子は、

鉄に比べると目立たないから、
人間は亜鉛の大変さをよく理解していないな

と、人間界での亜鉛の評価の低さを感じていた。

後半につづく